

長い間、地元の人によって里山の木は炭や薪に、谷戸は田んぼや畑として利用されていましたが、昭和40年代以降社会の変化と共に使われなくなりました。

昭和30年代までこのような所にはたくさんの種類の生き物が生息し、生物多様性に富んだところでした。

人の手が入らなくなってやや少なくなったものの、ここには今では珍しくなった貴重な生き物がいろいろいます。

2015年、神奈川県自然保護協会が選ぶ県内生物多様性ホットスポットとして選定されました。

あつぎこどもの森公園憲章

私たち厚木市民は、『あつぎこどもの森公園』において、多くの生き物に恵まれた自然環境や里山の文化などの資源を守り、いかながら、遊んで学んで元気になれる自然体験活動を通じてたくましい子どもたちを育てる取組を推進するため、この憲章を定めます。

- 私たちは、厚木市の生き物にとって重要な場所である『あつぎこどもの森公園』の自然環境を守り、育て、その大切さを伝えます。
- 私たちは、里山の自然環境の特性をいかした様々な体験の機会を子どもたちに提供し、生きる力を育みます。
- 私たちは、里山で継承されてきた農業や暮らしの知恵を伝承し、新たな里山の文化を育てます。

制作 ©あつぎこどもの森クラブ自然プロジェクトグループ 通巻81号

写真 吉田文雄・ナカノジュンゴ・青砥航次

連絡先 あつぎこどもの森公園管理棟 046-210-3433

E-mail atsugikodomonomorikurabu@gmail.com

HP: <https://atsugikodomonomori.com/>

木の実を見つけよう



アカシデ

2023年6月17日(土)

主催 **あつぎこどもの森クラブ**

このパンフレットのバックナンバーは下記からダウンロードできます
<https://atsugikodomonomori.com/guidedwalk>

実をつけた植物をさがそう

梅雨に入って花がいっぱいの季節が終わり、実が目立つようになってきた。



イヌシデ

左のイヌシデは、表紙のアカシデの仲間。実の形が神社のしめ縄などにつける紙の飾り幣（しで）に似ている。



ミツバウツギ



ヒメコウゾ



サルナシ



ゴンズイ
秋には赤くなり目立つ



ニガイチゴ



タチツボスミレ閉鎖花

閉鎖花
蕾はつけても開花しないで、種子を作る花。

最近のこどもの森公園 6月10日



エゴノキにできた虫こぶ
エゴノネコアシアブラムシの幼虫が1房に1匹ずつ入っている。
爪を隠して丸くなっているネコの足のように見えませんか？



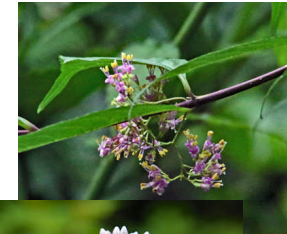
クマノミズキ
5月初めの頃はよく似たミズキの花が咲いていた。
クマノミズキは互生
ミズキは対生なので
区別できる。



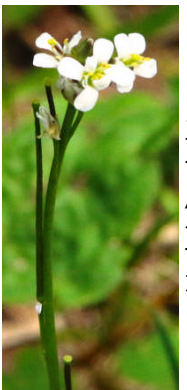
ネジバナ
ネジの向きは右？左？



ネズミホソムギ
移入されたヨーロッパ原産の牧草、ホソムギとネズミムギが交配したもの。
日本全国に広がっている。



ムラサキシキブ



ミヤマハタザオ



ホタルブクロ



オカトラノオ

昆虫



左 ツトガ成虫 2cm ほど
幼虫はイネ科の植物を食べる。シバの害虫。



右 アカマダラメイガ 成虫 2cm ほど
幼虫はシロツメクサやメドハギなどを食べる。



左 カタピロアメンボ 2mm ほど 極小のアメンボ。管理棟の溝ビオトープで水面に落ちてきたアミメアリを食べている。



上 ニセケバエの集団 3mm ほど ヤシャブシの葉の上で集団で交尾しています。幼虫は腐葉土の中にいるようだ。



ノコギリクワガタ成虫

成虫の寿命は 1 年以内。メスは大顎で柔らかい倒木などに穴を開けて産卵する。



クロスジギンヤンマ

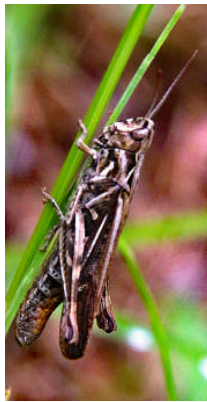
最近クロスジギンヤンマはとも増えている。



モノサシトンボ



ナナフシモドキ



ヒナバッタ

こけ・きのこ



ケゼニゴケ



牧野富太郎にちなんで命名されたコケ
マキノゴケ



ナラタケモドキ



シロキクラゲ

モリアオガエルの卵塊



モリアオガエルは、水面の上に張り出した木の上に産卵するカエルです。

国内では希少性から天然記念物として保護されている地域もあります。

人目につきやすい生活史を持っている種ですから、神奈川県内ではごく一部の怪しい例を除いて生息していないと思われます。

茅ヶ崎で見つかったものがあるのですが、DNA を調べた結果関西方面から持ち込まれたようです。

こどもの森内や隣接する馬込池で5年前から見られるようになりました。それまでは記録がなかったのですから、誰かが持ち込んだものが増えているものと思われます。

本来の生態系の破壊につながるもので、極力排除しようと努力中です。

活動の記録

5月17日 東京農大 里山実習

約30名の学生さんを迎えて、平均年齢が高くなって活動力が落ちているこどもの森クラブの管理作業に力を貸してもらいました。



去年までササが生い茂っていた昔の開墾畑あとにつみあげてあった刈り取ったササを下の田んぼの脇におろし、チップにかけて粉碎、堆肥作り（上、右）をしたり、田んぼの下に造成した水生生物ビオトープで、ヨシの拡がりを押さえたり、縁の畦を固める作業をしてもらったりしておおいに助かりました。



午後は有志のといってもほとんどの学生さんに残っていただきモリアオガエル駆除作業をもらいました。

こどもの森ガイドウォーク（自然観察）原則毎月第3土曜日

原則事前申し込み制で、定員に空きがある場合は当日参加もできます。会員に限らず誰でも申し込みます。

管理棟集合 参加無料どなたでも参加できます。 開始時間要確認

4月15日 雑木林の春	11月18日 みのりの秋
5月20日 新緑の空中回廊を歩く	12月16日 生き物の冬越し
6月17日 木の実を見つけよう	次回 2024年
7月15日 木もれ日の公園を歩く	
8月19日 湿地の生き物を調べる	1月20日 冬の野鳥
9月16日 草原の虫たち	2月24日 冬芽とコケ
10月21日 秋の花	3月16日 春の兆し

植物モニタリング

原則毎月第2金曜日の9：30から 決まったコースを歩いて出現する植物を記録します。植物を覚えたい方により機会です。会員対象

草木染め勉強会

園内にある植物を使って草木染めをいろいろ試してみようという会です。毎月第3金曜日午前中。 会員対象です。（入会はいつでも受付けています）

いきものガイド

東京農大学生による生き物調べお手伝い 第1, 第3日曜14時 ~16時

